

Time travel in MIYOSHI

三好 歴史をたどる旅

第4話「三好池の工事」その3

愛知用水計画の核とし建設された三好池。曲がり池の水を確保しながら工事を進めるといふ難関を克服し、わずか15カ月間という工事期間で昭和34年に完成しました。この三好池の工事とともに、三好池に木曾川から水を導入したり、三好池から耕地へ放流したりする水路の工事が行われ、三好池は現在の三好町発展の礎となりました。



竣工当時の三好池

竣工

昭和34年4月18日、三好池で完成を祝う竣工式が行われました。式には、濱口雄彦愛知用水公団総裁、桑原幹根愛知県知事らが出席。神事の後に、三好池一周リレーやもち投げなども開催されました。ここに堤防の高さが19・74m、堤防の長さは430m、有効水深16・86m、そして有効貯水量220万m<sup>3</sup>を誇る三好池は完成、現在の姿になりました。

水路の工事

三好池の完成と前後して、木曾川と三好池、三好池と田・畑などの耕地を結ぶ、さまざまな水路が次々と作られました。水路の総延長は、町内だけでも約61・5km。水路工事に伴い、地元の人々の手によっておよそ1・6kmもの田や畑、農道の整備などが行われました。



竣工式に向かう新屋区民の行列

まちの豊かさのシンボル

三好池の完成は、それまでの自然の雨水と無数の溜池の水に頼らざるを得なかった農業のスタイルを一変させました。果樹園でもスプリンクラーを導入するなど、近代的で安定した農業が実現。カキ・ナシ・ブドウが三好の特産品とまで称されるようになりました。そして愛知用水による水源確保によって企業立地も進められ、昭和35年には工場誘致条例が制定。多くの工場は、三好町発展の大いなる原動力となり、町財政の基盤が形成されました。また今や三好池は経済面だけでなく、四季折々の豊かな自然を残しつつ、カヌー競技やウォーキング、そしてEポートなどスポーツ交流の場「三好公園」としても、人々の心をいやしてくれる、町民の心のよりどころになっています。

先人たちの英知と勇気を受け継いで

かつて愛知用水の水源を確保するため、長野県御嶽山ろくにある三岳村の牧尾ダム建設によって移住を余儀なくされた家は186戸。うち7戸が三好町に移転しました。愛知用水の取り持つ縁で三好町と三岳村は、昭和58年10月14日に友好都市提携を締結。その後も毎年交互に会場を受け持つ行われる子ども会交流会や小学4年生が三岳村を訪問する三岳村自然交流活動、老人クラブの交流、いじじゃんまつりへの参加など、あらゆる世代による交流が続けられています。満々と木曾の水をたたえる三好池。わたしたちのまちの発展がこの池に支えられ、その背景には三好町の初代町長で三好池建設時の村長の久野源蔵氏をはじめとする、たくさんの方々の先人たちの英知と勇気があります。このことを後の代まで語り継いでいくことが、今を生きるわたしたちの使命であり、同時に三好池を守っていくことにつながるのではないのでしょうか。

広報クイズ

三好の特産の果物といえば、カキ・ナシ・ブドウです。即売所で購入した新鮮で甘い、カキ155個、ナシ98個、ブドウ60房を何人かで平等に分けたところ、どの果物も同じ数だけ余りました。さて、何人で分けたのでしょうか。またカキ・ナシ・ブドウは一人当たり、それぞれいくつずつ分けられたのでしょうか。そして、余った数はいくつだったのでしょうか。

【応募方法】答え①〇人②カキ〇個、ナシ〇個、ブドウ〇房③余り〇。郵便番号・住所・氏名・電話番号・年齢とご意見、ご要望などを書き添えて、はがき、ファクス、または電子メールで広報情報課へお送りください。正解者の中から抽選で10人に、図書券500円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】はがき：〒470-0295 三好町役場広報情報課（住所不要）ファクス：☎(32)2165 電子メール：✉kotojoho@town.miyoshi.aichi.jp

【締切日】9月8日(月)必着 【8月号の正解と当選者】①3②7③5（1年は、365日、3760時間、525600分）（全26通中正解25通）網崎京子、伊藤春代、大塚千佳子、中林富子、中西千夏、西村ヒトミ、西山友里加、波多野隆明、馬場三樹男、平山啓子（敬称略）

【アイデア・企画】広報で紹介するといったアイデアなどありましたら広報情報課へお知らせください。

おめでとう おたんじょうび 9月

「歌が大好き」歌うことが大好きなかかちゃん。絵本を見ながら「ぞうさん」や「大きな栗の木の下で」を大きな声で歌うんだよ。おままごとで料理を作ったり、お茶を入れたりすることが得意なんだって。最近、お話しすることが上手にできるようになったあかちゃんに「元気で明るい、優しい子に育ってほしい」とお母さん。

宇野朱音ちゃん(ひばりヶ丘)

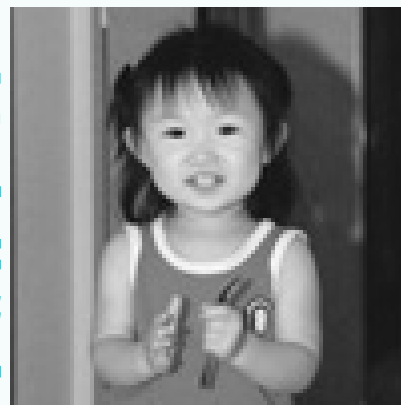
平成13年9月6日生 父・隆司さん 母・昌代さん



「楽しみなこい」ビデオに合わせて、踊ったり、歌ったりすることが得意なりりちゃん。お母さんと一緒に、保育園で行われる子育て支援事業のびやちゃんルームに出掛けて、お友達と遊ぶことが一番の楽しみなんだ。チョコレートが大好きというりりちゃんに「周りの人の気持ちを大切にしながら、すくすくと元気に育ってほしい」とお父さん。

澤田璃々香ちゃん(三好上)

平成13年9月18日生 父・真志さん 母・詩織さん



出場者募集中

【11月のお誕生日コーナー】 応募期間 10月1日から3日まで 対象 11月生まれで3歳未満の児 応募方法 広報情報課へ電話で ☎(32)83357 ※9月の応募数は、12件でした。